

研究・調査報告書

報告書番号	担当
97	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Alcohol consumption and risk of incident atrial fibrillation in women. 女性でのアルコール消費と心房細動のリスク。	
執筆者	
Conen D, Tedrow UB, Cook NR, Moorthy MV, Buring JE, Albert CM.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
JAMA. 2008 Dec 3;300(21):2489-96.	
キーワード	
アルコール、心房細動、女性	
要 旨	
<p>目的： これまでの多くの研究からはアルコールの中多量摂取者では男性では心房細動のリスクが上昇するが女性ではそうでないことが示されている。しかし、それらの研究では女性でのアルコール摂取と心房細動について十分なパワーがない。本研究ではアルコール消費量と心房細動について女性で検討した。</p> <p>方法： アメリカでのランダムコントロール研究である Women's health study 参加者の 34715 名の健康な女性を対象とした。45 歳以上で心房細動の既往のない女性を 1993 年から 2006 年 10 月まで追跡した。アルコール消費はベースライン時と 48 か月後に調査して 4 つのカテゴリ(0、1 (エタノール換算で 15g)単位以下、2 単位以下、2 単位以上/日)に分類した。心房細動は年一回の自記式質問票とそれに基づいて心電図あるいは診療録で確認した。最初の心房細動の発症をもって心房細動とした。</p> <p>結果： 追跡期間の中央値は 12.4 年、653 件の心房細動を登録した。年齢調整後の 0 単位(n=15370)と比較して 1 単位以下(n=15758)、2 単位以下(n=2228)、2 単位以上(n=1359)の心房細動の発症は 1.59、1.55、1.27、2.25 イベント/1000 人年であった。非飲酒者と比較して 2 単位上の飲酒者は 0.66 イベント/1000 人年のリスク増加を認めた。多変数調整後の HR は 1.05(95%CI=0.88-1.25)、0.84(95%CI=0.58-1.22)、1.60(95%CI=1.13-2.25)であった。2 単位以上のアルコールが 48 か月後も変化がなかった場合 1.49(95%CI=1.05-2.11)、最初の循環器疾患イベント(脳卒中、心筋梗塞、冠動脈拡張術施行)で打ち切りとした場合で 1.68(95%CI=1.18-2.39)</p> <p>結論： 健康な中年女性では 2 単位までのアルコール摂取は心房細動とリスク上昇と関連を認めなかった。一日に 2 単位以上の大量飲酒者では小さいが統計学的に有意な心房細動のリスクの上昇を認めた。</p>	